

目 次

はしがき

凡例

第1編 犯罪の動向

第1章 刑法犯	2
第1節 主な統計データ	2
1 認知件数と発生率	3
2 検挙人員	5
3 検挙率	6
コラム1 刑法犯以外も含めた犯罪の全体像を捉えるための試み	7
第2節 主な刑法犯	9
1 窃盗	10
2 強制性交等・強制わいせつ	12
3 その他の刑法犯	14
コラム2 新型コロナウイルス感染症と刑法犯認知件数の推移	20
第2章 特別法犯	22
第1節 主な統計データ	22
第2節 主な特別法犯	24
第3章 諸外国における犯罪動向	26
第1節 諸外国における犯罪	26
1 殺人	26
2 強盗	27
3 窃盗	28
4 性暴力	29
第2節 国外における日本人の犯罪	30

第2編 犯罪者の処遇

第1章 概要	32
1 新規立法の動向	33
2 法テラスの活動	35

第2章 検察	36
第1節 概説	36
第2節 被疑事件の受理	37
第3節 被疑者の逮捕と勾留	38
第4節 被疑事件の処理	39
第3章 裁判	42
第1節 概説	42
第2節 確定裁判	43
第3節 第一審	43
1 終局裁判	43
2 科刑状況	45
3 裁判員裁判	47
4 即決裁判手続	50
5 公判前整理手続	50
6 勾留と保釈	51
第4節 上訴審	52
第4章 成人矯正	54
第1節 概説	54
1 刑事施設等	54
2 刑事施設における処遇	54
コラム3 名古屋刑務所不適正処遇事案	55
第2節 刑事施設の収容状況	58
1 刑事施設の収容人員	58
2 刑事施設の収容率	58
3 入所受刑者	59
4 出所受刑者	61
第3節 受刑者の処遇等	63
1 処遇の概要	63
コラム4 若年受刑者に対する処遇の充実	65
2 作業	67
3 矯正指導	68
4 就労支援	69
5 福祉的支援	70
コラム5 知的障害受刑者処遇・支援モデル事業	71
6 受刑者の釈放等に関する情報の提供	72
第4節 刑事施設の運営等	72
1 刑事施設視察委員会	72
2 給養・医療・衛生等	72
3 民間協力	73
4 規律・秩序の維持	73
5 不服申立制度	74
第5節 未決拘禁者等の処遇	74

第6節	官民協働による刑事施設等の整備・運営	75
第5章	更生保護	76
第1節	概説	76
1	更生保護における処遇	76
2	更生保護の機関	76
第2節	仮釈放等と生活環境の調整	77
1	仮釈放等	77
2	生活環境の調整	80
第3節	保護観察	81
1	保護観察対象者の人員等	81
2	保護観察対象者に対する処遇	85
3	保護観察対象者に対する措置等	91
4	保護観察の終了	91
第4節	応急の救護・更生緊急保護の措置等	92
第5節	恩赦	94
第6節	保護司、更生保護施設、民間協力者等と犯罪予防活動	94
1	保護司	94
2	更生保護施設	95
3	自立準備ホーム	97
4	民間協力者及び団体	98
5	更生保護協会等	99
6	犯罪予防活動	99
第6章	刑事司法における国際協力	100
第1節	刑事司法における国際的な取組の動向	100
	コラム6 司法外交閣僚フォーラム	100
1	京都 kongress の成果の具体化	102
2	国際組織犯罪対策及びテロ対策	104
3	薬物犯罪対策	104
4	マネー・ローンダリング対策	105
5	汚職・腐敗対策	106
6	サイバー犯罪対策	106
7	国際刑事裁判所	106
第2節	犯罪者の国外逃亡・逃亡犯罪人の引渡し	107
1	犯罪者の国外逃亡	107
2	逃亡犯罪人の引渡し	107
第3節	捜査・司法に関する国際協力	108
1	捜査共助	108
2	司法共助	108
3	刑事警察に関する国際協力	109
第4節	矯正・更生保護分野における国際協力	110
1	国際受刑者移送	110
2	矯正・更生保護に関する国際会議	110

第5節	刑事司法分野における国際研修・法制度整備支援等	111
1	国連アジア極東犯罪防止研修所における協力	111
2	法制度整備支援	112
3	矯正建築分野における協力	112

第3編 少年非行の動向と非行少年の処遇

第1章	少年非行の動向	114
第1節	少年による刑法犯	114
1	検挙人員	114
2	属性による動向	116
3	罪名別動向	118
4	共犯事件	119
第2節	少年による特別法犯	120
1	検挙人員	120
2	薬物犯罪	121
3	交通犯罪	122
第3節	ぐ犯少年	123
第4節	不良行為少年	124
第5節	家庭と学校における非行	125
1	家庭内暴力	125
2	校内暴力	126
3	いじめ	126
第2章	非行少年の処遇	127
第1節	概要	127
1	少年法等の改正について	128
2	家庭裁判所送致までの手続の流れ	128
3	家庭裁判所における手続の流れ	129
4	保護処分に係る手続の流れ	130
第2節	検察・裁判	131
1	検察（家庭裁判所送致まで）	131
2	家庭裁判所	132
第3節	少年鑑別所	137
1	概説	137
2	入所・退所の状況	137
3	鑑別	140
4	観護処遇	142
5	非行及び犯罪の防止に関する援助	143
	コラム7 法務少年支援センターが実施する「地域援助のいま」	144
第4節	少年院	146

1	概説	146
2	少年院入院者	146
3	少年院における処遇	150
4	出院者	155
5	少年院の運営等	156
	コラム8 少年院100年のあゆみ	157
第5節	保護観察	159
1	概説	159
2	少年の保護観察対象者	160
3	少年の保護観察対象者に対する処遇	162
4	少年の保護観察対象者に対する措置	165
5	少年の保護観察の終了	166
第3章	少年の刑事手続	167
第1節	概要	167
1	起訴と刑事裁判	167
2	刑の執行	167
3	仮釈放	167
第2節	起訴と刑事裁判	168
1	検察庁での処理状況	168
2	通常第一審の科刑状況	169
第3節	少年の受刑者	170

第4編 各種犯罪の動向と各種犯罪者の処遇

第1章	交通犯罪	172
第1節	交通犯罪関係法令の改正状況	172
1	自動車運転死傷処罰法	172
2	道路交通法	172
第2節	犯罪の動向	173
1	交通事故の発生動向	173
2	過失運転致死傷等・危険運転致死傷	174
3	ひき逃げ事件	176
4	道交違反	177
第3節	処遇	178
1	検察	178
2	裁判	180
3	矯正	181
4	保護観察	182

第2章 薬物犯罪	183
第1節 犯罪の動向	183
1 覚醒剤取締法違反	183
2 大麻取締法違反等	185
3 危険ドラッグに係る犯罪	186
第2節 取締状況	187
1 覚醒剤等の押収量の推移	187
2 密輸入事案の摘発の状況	188
3 麻薬特例法の運用	189
第3節 処遇	190
1 検察・裁判	190
2 矯正	191
3 保護観察	193
第3章 組織的犯罪・暴力団犯罪	194
第1節 組織的犯罪	194
第2節 暴力団犯罪	194
1 組織の動向	194
2 犯罪の動向	195
3 処遇	199
第4章 財政経済犯罪	202
第1節 税法違反	202
第2節 経済犯罪	203
第3節 知的財産関連犯罪	206
第5章 サイバー犯罪	207
第1節 概説	207
第2節 不正アクセス行為等	208
第3節 その他のサイバー犯罪	209
第6章 児童虐待・配偶者からの暴力・ストーカー等に係る犯罪	210
第1節 児童虐待に係る犯罪	210
第2節 配偶者からの暴力に係る犯罪	212
第3節 ストーカー犯罪等	214
1 ストーカー犯罪	214
2 私事性的画像被害に係る犯罪（リベンジポルノ等）	217
第7章 女性犯罪・非行	218
第1節 犯罪・非行の動向	218
第2節 処遇	220
1 検察	220
2 矯正	221
3 保護観察	225

第8章 高齢者犯罪	226
第1節 犯罪の動向	226
第2節 処遇	229
1 検察	229
2 矯正	230
3 保護観察	232
第9章 外国人犯罪・非行	233
第1節 外国人の在留状況等	233
1 外国人新規入国者等	233
2 不法残留者	233
3 退去強制	233
第2節 犯罪の動向	234
1 刑法犯	234
2 特別法犯	236
第3節 処遇	237
1 検察	237
2 裁判	239
3 矯正	240
4 保護観察	240
第4節 外国人非行少年の動向と処遇	241
1 外国人犯罪少年の動向	241
2 外国人非行少年の処遇	242
第10章 精神障害のある者による犯罪等	243
第1節 犯罪の動向	243
第2節 処遇	243
1 検察・裁判	243
2 矯正	244
3 保護観察	244
4 精神保健福祉法による通報	244
第3節 心神喪失者等医療観察制度	245
1 審判	246
2 指定入院医療機関による医療	247
3 地域社会における処遇	247
第11章 公務員犯罪	248

第5編 再犯・再非行

第1章 検挙	250
1 刑法犯により検挙された再犯者	250
2 刑法犯により検挙された20歳以上の有前科者	251
3 薬物犯罪により検挙された20歳以上の同一罪名再犯者	253
コラム9 特別法犯の再犯者率	254
第2章 検察・裁判	256
1 起訴人員中の有前科者	256
2 全部及び一部執行猶予の取消し	258
第3章 矯正	259
1 再入者	259
2 出所受刑者の再入所状況	261
3 出所受刑者の再入率の推移	264
4 再入者の再犯期間	266
第4章 保護観察	267
1 保護観察開始人員中の有前科者	267
2 保護観察対象者の再処分等の状況	268
第5章 少年の再非行・再犯	273
1 少年の再非行	273
2 保護観察処分少年及び少年院入院者の保護処分歴	275
3 少年院出院者の再入院等の状況	276
4 少年の保護観察対象者の再処分の状況	278

第6編 犯罪被害者

第1章 統計上の犯罪被害	282
第1節 被害件数	282
第2節 生命・身体への被害	284
第3節 性犯罪被害	285
第4節 財産への被害	285
第5節 被害者と被疑者の関係	286
第6節 国外における日本人の犯罪被害	287
第2章 刑事司法における被害者への配慮	288
第1節 刑事手続における被害者の関与	288

1	被害申告及び告訴	288
2	起訴・不起訴等に関する被害者等への通知	288
3	不起訴処分に対する不服申立制度	289
4	公判段階における被害者等の関与	291
5	矯正・更生保護段階等における被害者等の関与	293
6	少年事件における被害者等への配慮	294
7	法テラスによる被害者等に対する支援	295
8	地方公共団体における被害者支援に向けた取組	296
第2節	犯罪被害者等に対する給付金の支給制度等	297
1	犯罪被害給付制度	297
2	国外犯罪被害弔慰金等の支給制度	297
3	被害回復給付金支給制度	297
4	被害回復分配金支払制度	297
5	自動車損害賠償保障制度	297
6	地方公共団体による見舞金制度等	298
第3節	人身取引被害者保護	298

第7編 非行少年と生育環境

第1章	はじめに	300
第2章	非行少年への対応（戦後少年法制等の変遷）	302
1	戦後の少年法制に係る主な動き	302
2	戦後の少年による刑法犯及び特別法犯の動向	306
第3章	少年を取り巻く生育環境及び生活状況の変化	307
第4章	昨今の少年非行の動向等	313
第1節	検挙	313
1	少年による刑法犯及び特別法犯の検挙人員の動向	313
2	「初発型非行」の検挙人員及び構成比の推移	317
第2節	裁判	319
第3節	少年矯正	321
1	少年院入院者の状況の推移	321
2	少年鑑別所入所者の意識の変化	326
第4節	保護観察	331
第5章	特別調査	334
第1節	調査の概要	334
1	調査対象者及び調査方法	334
2	調査の内容	336

第2節	特別調査の結果から見た非行少年の状況	336
1	養育の状況	336
2	日常生活状況	337
3	就学、就労の状況	341
4	周囲との関わり、社会とのつながり	344
第3節	世帯状況の違いによる比較	347
1	世帯状況	347
2	日常生活状況	348
3	就労の状況	351
4	周囲との関わり、社会とのつながり	352
	コラム10 年齢層の違いによる比較	356
第4節	経済状況の違いによる比較	357
1	経済状況	357
2	日常生活状況等	362
3	就学の状況	367
	コラム11 保護観察所における修学支援パッケージの試み	372
第5節	小児期逆境体験（ACE）の有無による比較	373
1	ACEの状況	373
2	養育の状況	374
3	日常生活状況	376
4	周囲との関わり、社会とのつながり	378
	コラム12 男女の違いによる比較	380
	コラム13 少年院におけるトラウマインフォームドケアの試み	382
第6節	保護者の意識・実情	383
1	初めて親になった年齢	383
2	成人するまでの経験	383
3	子供を持ってからしたことがある経験	384
4	子供との関わり方	385
5	支え手伝ってくれる人の存在	386
6	頼れる人の存在	387
7	あればよいと思う支援	388
第6章	おわりに	390
第1節	少年を取り巻く生育環境及び生活状況の変化	390
第2節	少年法制の変遷と昨今の少年非行の動向等	390
1	少年法制の変遷	390
2	昨今の少年非行の動向等	391
第3節	非行少年の生育環境等を踏まえた処遇の在り方	392
1	非行少年特有の傾向・特徴への着目	392
2	就学、就労の状況における特徴を踏まえた非行少年の支援・処遇の在り方	393
3	ACEの有無による違いを踏まえた非行少年の支援・処遇の在り方	395
4	少年及び保護者に対する地域における支援等の在り方	396
第4節	まとめ	397
	事項索引	399

資料編目次（※CD-ROM収録）

- 資料1-1 刑法犯 認知件数・発生率・検挙件数・検挙率・検挙人員
- 資料1-2 刑法犯 認知件数・検挙件数・検挙人員（罪名別）
- 資料1-3 刑法犯 検挙率（罪名別）
- 資料1-4 特別法犯 検察庁新規受理人員（罪名別）
- 資料2-1 検察庁新規受理人員（罪名別）
- 資料2-2 検察庁終局処理人員（罪名別）
- 資料2-3 地方裁判所における死刑・懲役・禁錮の科刑状況（罪名別）
- 資料2-4 刑事施設の一日平均収容人員
- 資料2-5 年末在所懲役受刑者人員（刑期別）
- 資料2-6 特別改善指導の受講開始人員の推移
- 資料2-7 仮釈放・少年院仮退院審理事件 審理開始・許可等人員
- 資料2-8 保護観察開始人員・全部又は一部執行猶予者の保護観察率
- 資料2-9 保護観察開始人員（罪名別、男女別）
- 資料3-1 少年・20歳以上の者の刑法犯・危険運転致死傷・過失運転致死傷等 検挙人員・人口比・少年比
- 資料3-2 少年による刑法犯 検挙人員・人口比（年齢層別）
- 資料3-3 少年による刑法犯 検挙人員（罪名別）
- 資料3-4 触法少年による刑法犯 補導人員（非行名別）
- 資料3-5 少年による刑法犯 罪名別検挙人員（男女別、年齢層別）
- 資料3-6 少年による特別法犯 検挙人員（罪名別）
- 資料3-7 家庭裁判所終局処理人員（ぐ犯の態様別）
- 資料3-8 犯罪少年の検察庁新規受理人員・人口比（年齢層別）
- 資料3-9 犯罪少年の検察官処遇意見・家庭裁判所終局処理結果の各構成比（年齢層別）
- 資料3-10 少年保護事件 家庭裁判所終局処理人員（処理区分別、非行名別）
- 資料3-11 少年鑑別所入所者の人員・一日平均在所人員（男女別）
- 資料3-12 少年入所受刑者の人員（男女別、年齢層別、刑期別）
- 資料4-1 交通事故 発生件数・死傷者数・死傷率等の推移
- 資料4-2 覚醒剤取締法違反等 検察庁終局処理人員
- 資料4-3 覚醒剤取締法違反等 通常第一審における有罪（懲役）人員（刑期別）
- 資料4-4 財政経済犯罪 起訴・不起訴人員
- 資料4-5 財政経済犯罪 通常第一審における懲役刑科刑状況
- 資料4-6 サイバー犯罪 検察庁終局処理人員
- 資料4-7 外国人の検察庁終局処理人員
- 資料4-8 来日外国人被疑事件 検察庁終局処理人員（罪名別）
- 資料4-9 被告人通訳事件 通常第一審における有罪人員・科刑状況（懲役・禁錮）の推移
- 資料4-10 F指標入所受刑者人員（国籍別）
- 資料4-11 外国人の保護観察開始人員（国籍別）
- 資料5-1 再入者人員（罪名別、男女別）
- 資料5-2 入所受刑者の入所度数別人員（罪名別）
- 資料5-3 再入者の再犯期間別人員（前刑罪名別）